

掲示板のことば

わたしたちは
いつの間にか
多数を
正義として
ひとりを
見失っていました

2018. 01

私たちは、小さいころから、物事がなかなか決まらないとき、多数決という方法を用いてきました。当然、納得がいかないときもあれば、よしよしと満足するときもありました。多数決に勝ったのだと…。

でも思い返してみますと、多数決はいつも正しかったわけではありません。便宜上、多い方の意見を採用して少ない意見を無視してきたのです。

お昼ごはんは何を食べようかと相談し、ラーメンが食べたい人が多かったので、みんなでラーメンを食べに行きました。でも中には、うどんが食べたかった人もいました。似たような経験がありませんか？

リーダーシップのある人の意見を多くの人が支持をして、そのことで傷ついた人がいたことに気が付かないということもあるでしょう。

多い意見がいつも正しいとは限らないのですが、私は、多い意見の仲間に入りたかったのです。優越感がありますし、安心できるからです。

多数といえども、本当はひとりひとりの集まりです。思いが違っていることもあれば、生きている関係性や環境も違っているでしょう。それでも、意見を一つにまとめなければならないときがあります。

そのようなとき、多数からは漏れている、または除外されている「ひとり」を見失ってはならないと教えられました。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹